



三田中だより

令和2年度 11月号
令和2年 11月4日
港区立三田中学校

生徒が主役の最高の「三田祭〈体育の部〉」

～全力で取り組む姿勢と深い絆と豊かな成長と～

校長 渡邊 常次

10月31日(土)に、三田祭〈体育の部〉を実施しました。競技種目を精選し、時間を短縮し、半日で行いました。コロナ禍の中で行う、全学年が集まっての初めての大きな行事です。生徒たちは、練習の時から3年生を中心に意欲が高まり、必ず成功させるという強い思いが伝わってきました。教員は、その生徒たちの強い思いを受け止めながら、担当教員が区の感染症専門アドバイザーから助言やアドバイスを受け、練習や当日の運営に感染症対策を反映させながら、三田祭〈体育の部〉に臨みました。

全体練習の時から、実行委員長、副委員長を中心によく頑張りました。本番までの練習態度、係活動も各学年立派でした。前日準備の会場設営等も、協力してできました。そんな皆さんの姿を見て、本番の「三田祭〈体育の部〉」は、必ず、成功すると確信しました。

今年のスローガンは「一致団結、はばたけ広い大空へ」です。当日へ向けて3年生が2年生へメッセージを送っています。2年生の学年通信に掲載されましたので紹介いたします。「コロナで体育祭の形式が変わり三田祭となりましたが、伝統は変わりません。このまま伝統を引き継いで、これからも良い三田祭にしてほしいです。」(赤組：実行委員)「1年生の時、3年生の堂々とした態度を見て、すごいと思いました。内容は変わってしまいましたが、いつも通り真剣に、真面目に、見に来てくれた保護者の方がすごいと思ってくれる三田祭にしたいです。」(白組：実行委員)「3年生として全力で頑張ります。行事への姿勢を見て、学んで、これから新生が入ってきても、受け継いで伝えられるようにしてください。」(青組：実行委員)1、2年生の皆さんは、この3年生のメッセージからどんなことを受け止めたでしょうか。そして、何を感じたでしょうか。3年生にとっては、最後の三田祭になりました。例年通りの「体育祭」を実施したかったと思いますが、残念ながら、コロナ禍で願いはかないませんでした。無念であったと思います。しかし、メッセージにあるように、三田祭という形になっても行事にかける3年生の情熱は、変わりませんでした。あるいは、それ以上の強い思いをもてたように思います。自分たちが三田祭〈体育の部〉を実施できる喜びとともに、三田中学校に先輩から脈々と受け継がれた伝統をバトンとして後輩に渡す明確な意志を感じました。様々な行事に一生懸命、全力で取り組むこと、そのことによって、いつも勝敗を超えたところで、感動や団結力、深い絆が醸成されます。そして、一人一人の豊かな成長が見られます。この素晴らしい伝統を3年生がしっかりと後輩に伝えてくれました。伝統は、生徒同士が学び合い、成長し合う中で伝えていくものです。

今年度の三田祭〈体育の部〉の本番当日も様々な場面で、自分たちで考え、判断し、行動する姿が印象的でした。生徒の真剣な表情とともに、たくさんの笑顔があふれていました。3年生のリーダーシップも光りました。「後輩に三田中の良き伝統を引き継ぐ」という3年生の明確な意志も見事に達成されたと思います。生徒主体の三田祭〈体育の部〉になったと思います。生徒主体とは、「生徒が主役」であるということです。自分たちの手で素晴らしい三田祭〈体育の部〉をつくりあげましたね。保護者の方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。最高の三田祭〈体育の部〉になった証です。まだまだ厳しい社会状況は続きますが、コロナとともに、コロナに負けず、みんなで力強く、一步一步前進していきましょう。